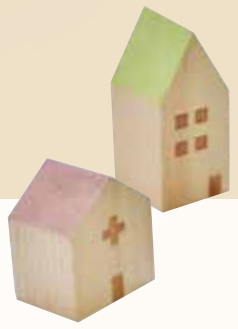


平成28年度決算 議会が審査・認定



分科会審査

経営政策分科会

- ◆普通地方交付税や臨時財政対策債が平成27年度に比べて大きく減少しています。今後の歳出見込みについては、平成29年度は平成28年度とほぼ同じ水準であることや、国でも地方交付税、臨時財政対策債のあり方の議論が進められていることから、今後国の動向を注視するとともに、市財政の健全化に努めてください。
- ◆市民病院でクレジットカード支払いができるのは入院や人間ドックに限定されていますが、市民サービスや人件費などを勘案し、できるだけ拡大するよう取り組んでください。
- ◆下水道事業について、人口減などの影響による水需要の減少により収支の状況が厳しく、下水道事業全体をみると公共下水道事業だけが黒字で、その他の事業を補っている状況です。また、下水道使用料は県内で3番目に安く、今後使用料を見直す中で大幅な値上げが危惧されることから、今後経営努力を行うとともに、見直しについては慎重に検討してください。
- ◆人事評価システムについては平成28年度から本格的に運用していますが、賞与・昇給などの処遇への反映や、面談を重視しながら職場風土を醸成し、職員のやる気・モチベーションを上げるよう努力してください。また、評価の低い職員については、先進地事例等を模索しながらやる気・能力を引き出す取り組みを進めるとともに、環境の変化や職場の活性化等につながる適正配置について今後検討を進めてください。

福祉教育分科会

- ◆弥生小学校ランチルームは試行的に行われていますが、子どもにとっても地域の方々やランチタイムを過ごすことは非常に有意義です。今後地域の協力も得ながら、余裕教室を活用するなどなるべく経費をかけずに全小学校でも事業を検討してください。
- ◆保育料については現年の収入未済額が増加しており、コールセンターを活用した納付勧奨をはじめ保育園を通じて督促状を手渡すなど、滞納を繰り越さないよう取り組んでいるとのことですが、引き続き現年の収納に努めるとともに、滞納が増えていることに対する職員の意識高揚に取り組んでください。
- ◆アンテナショップの目的については、障害者の授産活動の活発化、市民の障害者に対する理解及び障害者の社会参加の促進を図ることですが、障害者の自立促進に向けて開設日を増やすなどの取り組みを進めるとともに、各団体がお互いに切磋琢磨し前進できるよう実行委員会と協議してください。
- ◆幼稚園の園庭の芝生化について、保護者等の協力により少ない経費で公立幼稚園の園庭が素晴らしい芝生となりました。今後、私立幼稚園でも芝生化を希望される場合は、兵庫県の補助事業の情報提供を行うとともに、公立幼稚園で実施された芝生化の写真や具体的な必要経費の内訳、保護者との連携による管理状況等の情報を提供してください。

予算決算常任委員会で市の予算が適正に使われたかどうかを詳細に審査しました。委員会は議長を除く議員で構成されています。(なお、監査委員は決算の審査をしません。)平成28年度決算については、9月25日に経営政策、26日に福祉教育、27日に生活地域の各分科会で個別審査を、28日に全体会で総括質疑を行い、29日に表決を行いました。



生活地域分科会

- ◆第二テクノパーク^(※1)の企業誘致は大和ハウスと市が連携して進めており、現在の進出決定企業は11社でその内8社が操業し、全体の70%の区画が決定しています。また、操業企業の雇用者数は計573名で、うち市内在住者は247名とのこと。今後、市民の雇用創出の場として大変重要であることから、早期に残り区画の企業誘致に取り組んでください。また、テクノパーク^(※2)企業協議会とも定期的な情報・意見交換を行い、雇用拡大の取り組みを進めてください。
- ◆ふるさと地域交付金について、今後の交付金制度を含め、各所管課が交付している補助金を包括的に交付する手法を検討しています。また、まちづくり協議会の会長は構成団体の中から総会で選出しているとのことですが、交付額や権限が大きいことから、まちづくり協議会や交付金制度を慎重に検討してください。
- ◆市内住宅用地の大型分譲が同じ時期に一齐に終わる予定ですが、今後予想される住宅の供給不足を補うためにも空き家の活用が重要です。今後、増加が予想される空き家を住宅供給の一つの資源として活用できるよう、空き家バンクやマイホーム借上げ制度などを周知啓発するなど空き家対策に積極的に取り組んでください。



※1：北摂三田第二テクノパーク。平成23年に工事着手し、平成28年に工事完了。
※2：北摂三田テクノパーク。昭和56年に工事着手し、平成14年に工事完了。

全体会 (総括質疑)

委員が属する6つの会派が、すべての決算に関して質疑・要望し、答弁を求める。

議=議員 市=市長・市職員

●盟政会

- 議 児童館は建設された当時のままで改修がされていない。子どもの利用者が多い施設だが、子どもトイレがない。また、建物も老朽化しているが。
- 市 経年劣化が進む中、今後大きな改修経費が必要になることも見込まれる。緊急を要するものから順に検討を進めていきたい。

●新政みらい

- 議 地域への一括交付金制度が検討されているが、まちづくり協議会及び地域住民に大きな会計責任と負担が生じる懸念がある。地域が行う事業ごとに明確な運用ルールを決めて交付金を支出してはどうか。
- 市 まちづくり協議会のあり方や、議員提案の公共サービス事業に関する地域との協働の可能性について、包括的な交付金の制度設計に合わせて今後検討を進めたい。

●市民の会

- 議 市民活動に対する団体運営補助を廃止し、将来的には文化関係団体に対する補助制度の中で対応するとなっているが、どのような制度か。
- 市 文化関係団体への補助制度については、各団体から事業についての提案をいただきながら文化活動の補助をしていく制度の検討を進める。

●日本共産党三田市議団

- 議 市内経済を活性化させるために、緊急経済対策として住宅リフォーム助成制度を検討してほしい。
- 市 限られた財源の中で、まずは安心安全の推進という視点で、現在「三田市わが家の耐震改修促進事業」を推進している。

●公明党

- 議 平成28年度も不適切な事務処理や職員の不祥事が散見されるなど、市民の信頼を損なうような事案が発生している。内部統制の構築が必要ではないか。
- 市 市役所にとって大事なものは横の連携である。社会の変化に伴うさまざまな課題に対して、市職員が臨機応変に組織力をもって対応していけるような体制作りを進めていく。

●日本維新の会三田市議会議員団

- 議 全国学力学習状況調査の結果、三田市では県国の平均を上回っているが、学校間と学校内での二極化が課題であると聞く。どのような指導を行っていくのか。
- 市 児童生徒個々の学力の差は、少人数授業での指導や補習学習の機会の提供など、基礎学力の定着に努めている。学校間の差は、教職員の指導力の向上や、家庭学習の習慣化について保護者に情報発信するなど、対応している。

●無会派

- 議 三田市行財政構造改革の一環として、補助金等の見直しの作業が進められている。市民のまちづくりに参加しようとする意欲が下がっていることが懸念されるがいかか。
- 市 補助金等見直しガイドラインを定め、補助金額の削減ではなく、補助金の適正化を目的に見直しを進めている。公募型の補助金制度も検討しており、市民力・地域力の向上につながるよう努めたい。

平成28年度決算案件10件について、一般会計決算1件、特別会計5件、企業会計4件が賛成多数で認定されました。